

# 令和6年度 大会要綱

## 1 出場資格

- (1) 社会人チーム：朝霞市在住、在勤、在学する者等によって編成されたチームで職域チームは、同一企業に勤務する者が登録人員の3分の1以上、クラブチーム及び壮年チームは、埼玉県内及び隣接都県居住者の登録は、大会登録者の3分の1以内とする。
- (2) 中学生チーム：学校単位の中学生チームとする。
- (3) 学童チーム：朝霞市在住又は在学者が学年ごとに大会出場登録者の3分の2以上の人数で編成された小学生チームとする。

※新規加入チームの申し込みは、総会当日までとする。

## 2 出場資格の喪失について

- (1) 総会
- (2) 主将会議（総会終了後に実施します。）
- (3) 野球規則等説明会

※上記の一つでも欠席した場合は、大会へ出場することができません。

## 3 ブロック編成について

- (1) Aクラスは8チーム以内、Bクラスは20チーム以内、CクラスはA・Bクラス以外のチーム、壮年の部は40歳以上の者で編成されたチームとする。
- (2) Aクラスはリーグ戦とし、B・Cクラス及び壮年の部は、1ブロック5チームで予選リーグを行い、各ブロック上位2チームによる決勝トーナメント行う。（ただし、Cクラス及び壮年の部は参加チーム数による。）

## 4 試合時間及び回数等について

試合時間及び回数・コールドゲームは、次のとおりとする。

- (1) Aクラス 2時間又は9回戦。
- (2) B・Cクラス、壮年の部 1時間30分又は7回戦。

※全クラスにおいて延長戦は行わず、9回若しくは7回終了後直ちにタイブレーク方式により勝敗を決する。なお、タイブレークにおいても各クラスの試合時間を超えて新しいイニングには入らない。

※得点差のコールドゲームは、9回戦の場合5回以降10点差、7回以降7点差とし、7回戦の場合5回以降7点差とする。

暗黒降雨のコールドゲームは、5回（4回1／2）とする。

※雨天により試合が不成立となった場合は、再試合とする。

※後攻めチームが勝っている際で攻撃中に1時間30分（Aクラスは2時間）が経過した場合は、その時点の打者の打撃が完了して試合を打ち切りとする。

※試合中のボール回しは初回（表・裏）のみとし、2回以降は捕手が塁への送球だけとする。なお、アウトを取った後のボール回しはできません。

天候や試合の状況によりボール回しをすべて中止にすることがあります。

※試合をする時のベンチ入り人数は、登録選手10人以上とする。なお、10人集まらないとき及び試合の途中で10人を欠けたときは棄権扱いとする。

## 5 指名打者ルールについて

全日本軟式野球連盟が主催する大会において、指名打者ルールを使用することができることになったことを受け、当連盟主催の大会においても指名打者制を使用することができることとします。ただし、学童及び中学生の部については除きますが今後検討するとのことです。

## 6 義務審判員制（後審判制）について

Aクラスを含め原則として、すべての試合で義務審判員制を採用する。

従って、前試合の2チームより2人ずつが義務審判員となり、次の試合の審判（主審は除く）及びスコア係を行います。ただし、その日の第一試合は除きます。

※決勝トーナメント戦も、義務審判員制（スコア係）を採用する。

## 7 少年野球大会について

- (1) 市総体の学童の部については予選リーグを行い、A・Bリーグの上位2チームによる決勝トーナメントを行う。
- (2) 全日本学童・県学童・ノーブルホームカップ予選会及び秋季学年別大会はトーナメント戦とする。
- (3) 選手不足などにより、他のチームなどから補充する場合は、代表者会議において承認を得るものとし、詳細については代表者会議で決定する。
- (4) 学童の投球数制限は70球（4年生以下は60球）とし、その際打者が打撃完了しない場合は完了まで続投。
- (5) 市総体の中学の部については、トーナメント戦とする。

## 8 社会人の部 対外試合について

- (1) 社会人野球の各種県大会等の代表チームは連盟で推薦し、これを派遣する。
- (2) 日本スポーツマスターズ県大会及び東日本都市対抗シニア大会には、連盟で選抜チームを編成しこれを代表として派遣する。また、市内大会と日程が重なった場合には、市内大会を延期することがある。

## 9 グラウンドルールについて

中央公園野球場・内間木公園ソフトボール場を除き、他の球場の特別グラウンドルールは別に定める。

## 10 集合時間について

- (1) 試合開始予定時間までに集合しないチームは棄権となる。
- (2) 試合開始予定時間の30分前には必ず集合し、速やかに本部席・審判室へ監督または主将がメンバー表を3部提出（攻守を決めるとき）してください。

## 11 決勝トーナメントについて

- (1) 試合回数は7回戦。
- (2) 試合時間は、1時間30分。ただし、決勝戦のみ2時間とする。
- (3) 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。また、暗黒降雨によるコールドゲームは、5回（4回1／2）とする。
- (4) 雨天により試合が不成立となった場合は、再試合とする。
- (5) 同点の場合7回終了後、試合時間内でタイブレークを行う。試合時間を超えても決着がつかない場合は抽選（最終的に出場していた9人）により勝敗を決定する。また、6回以内で時間が経過した場合は、1イニングのみタイブレークを行い、さらに同点の場合は抽選とする。

## 1.2 予選リーグ戦順位決定について

- 各クラスは ①ポイント数の多いチーム ②得失点差の大きいチーム  
③対戦し勝利した方のチーム ④抽選  
※ポイント数は、勝利1.0・引き分け0.5  
①～④の順番で予選リーグ戦の順位を決定する。

## 1.3 クラス降格について

次の要件に当てはまるチームは、降格となる。

- (1) Aクラスの下位2チーム。
- (2) Bクラスの予選リーグ戦で、ポイントが0.5ポイント以下のチーム。
- (3) リーグ戦で降格チームがない場合は、各クラスの総合成績が下位の2チーム。
- (4) ペナルティーとして無届け棄権チーム。

## 1.4 クラス昇格について

次の要件に当てはまるチームは、昇格となる。

- (1) Aクラスに昇格するチームは、Bクラスの優勝及び準優勝の2チーム。
- (2) CクラスのチームがBクラスに昇格することができるチームは、降格チーム数に応じたチーム数とし、Cクラスの決勝トーナメント戦の上位の順からとする。
- (3) 新年度のBクラスの登録チーム数が(2)に該当する昇格チームを含めても、20チームに満たない場合には、さらにCクラスの決勝トーナメント戦の上位の順により定めた補欠チームを昇格チームに加える。

## 1.5 順守事項について

- (1) 打者・走者・捕手・次打者・ベースコーチは、必ずヘルメット着用のこと。
- (2) 捕手は、投手の投球を受けるときは、マスク・レガース・プロテクター・カップを必ず着用のこと。なお、攻守決定後の先発バッテリーの投球練習(中央公園野球場のみ)の際も同様とする。
- (3) ユニフォーム等についての順守事項について。(次ページの【参考】を参照。)
  - ①同一チームの監督、コーチ、選手は、同色、同形、同意匠のユニフォームでなければならない。
  - ②ユニフォームの選手名については、背中に選手名を付ける場合は、全員が背番号の上にローマ字で姓のみとする。ただし、同姓の者がいる場合、名の頭文字を入れてもよい。(全日本軟式野球連盟規程細則)
  - ③県大会に出場するチームのユニフォーム左袖には、漢字またはローマ字で、「埼玉(SAITAMA)」の名称を入れること。
  - ④投手のグラブについては、縁取り・しめひも、縫い糸を除くグラブ本体(捕球面、背面、網)は1色でなければならない。
  - ⑤ネクストバッタースサークル内でのバットスウィングは、禁止します。  
必ず低い姿勢で待っていること。(リングの使用も禁止します。)
  - ⑥グラブ・ミットの紐は、短く結ぶこと。(長くしたままのグラブ・ミットで、他の選手の眼球を傷つけた事故があったため。)
  - ⑦上記①から③までの順守事項については、Aクラス及びBクラスについては、厳格に適用することとし、試合開始整列時にチェックをし、違反する者がいた場合、その者は試合に出場することができないものとし、試合を行うためのチーム人数10人にもカウントしないこととする。

【参考】

監督や選手のユニフォーム、投手のグラブについての注意事項

① ユニフォーム等について

(公財)全日本軟式野球連盟規程細則で、「同一チームの監督、コーチ、選手は、同色、同形、同意匠のユニフォームでなければならない。」

② ユニフォームの選手名について

(公財)全日本軟式野球連盟規程細則で、「ユニフォームの背中に選手名をつける場合は、全員が背番号の上にローマ字で姓のみとする。ただし、同姓の者がいる場合、名の頭文字を入れてもよい。」と規定されています。

③ 投手のグラブについて (公認野球規則)

(a) 「投手のグラブは縁取りを除き白色、灰色以外のものでなければならない。審判員の判断によるが、どんな方法であっても幻惑させるものであってはならない。守備位置に関係なく、野手はPANTON®の色基準14番よりうすい色のグラブを使用することはできない。」

【注】アマチュア野球では、投手のグラブについては、縁取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体(捕球面、背面、網)は1色でなければならない。

(b) 投手は、そのグラブの色と異なった色のものを、グラブにつけることはできない。

(c) 球審は、自らの判断または他の審判員の助言があれば、あるいは相手チームの監督からの意義に球審が同意すれば、(a) または (b) に違反しているグラブを取り換えさせる。

「全日本軟式野球連盟としての考え方」

○本体カラー：受・背・ウェブは同色

○ハミダシ：本体同系色または革の自然色

○へり革：制限なし

○紐：白/グレー/PANTON®の色基準14番より薄い色以外は制限なし

○縫い糸：制限なし

○指掛け：本体同色

○刺繍：親指部分の付け根一か所のみ(本体同色)氏名・背番号・チーム名などの刺繍糸の色、大きさ共に制限なし

## 16 還暦の部について

本年度も引き続き試行として還暦の部を以下のとおり実施する。

- (1) 有資格年齢は、昭和37年4月1以前に出生した者とする。
- (2) 試合方法は、参加が3チーム以内の場合は、総当たり戦とする。  
なお、4チーム以上の場合は、トーナメント戦とする。
- (3) ユニフォームは試行のため、不揃いでも可とする。
- (4) 塁間の距離は、投手板から本塁間は16.3メートル、塁間は25メートルとする。
- (5) 使用球はナガセケンコーM号とし、金具付スパイクは禁止とする。
- (6) 試合時間、義務審判員制等は本大会要綱のとおりとし、指名打者ルールを採用する。なお、その他詳細は代表者会議で決定する。
- (7) 表 彰 優勝チーム、優秀選手1名
- (8) 参 加 費 1チーム登録費 3,000円、会費 5,000円

## 17 その他

- (1) 中学生及び学童野球のルール等については、別に定める。
- (2) 試合を棄権せざるを得ないときは、事前に連絡又は届出をすること。  
なお、無届けによる棄権は予選リーグの成績が良くても、決勝トーナメントに出場できなくなり、また、降格にもなりますのでご注意ください。
- (3) 雨天により試合が成立しなかった場合は再試合となりますので、日程を調整した後に、連盟ホームページにてお知らせします。

**※試合日当日の棄権連絡は、試合会場に届け出ること。なお、中央公園野球場については電話でも可(048-465-7277)。**

※前日までの棄権連絡は 理事長 比留間 090-4949-1350  
事務局長 金子 090-1458-7885